

実技試験

フィッティング

1 課題（1級、2級共通）

次の注意事項及び調整条件に従い、指定されたマネキンに対してフルリム・メタルフレームを用いてフィッティングを行う。

支給材料：フルリム・メタルフレーム1本

2 試験時間

1 級	2 級
20 分	30 分

3 注意事項

- (1) 試験開始前に指示書と提出袋に実施日、受検番号、氏名を記入する。
- (2) フィッティングで用いる工具は、試験会場に準備してある為、持ち込みは禁止とする。
- (3) 試験中は工具等の貸し借りや電卓の使用は禁止とする。
- (4) 試験開始前に、調整に使用するメガネフレームに不具合がないか確認を行うこと。もし不具合がある場合は、速やかに検定員にその旨を伝え、専用チェックシートにメモをする。また程度によっては、メガネフレームを取り替える場合がある。
- (5) 調整後はマネキンの適正な位置にメガネを装着させ、正面（無限遠の水平位置）から左右の瞳孔中心点を確認し、デモレンズ面上遠用ビジュアルポイント（アイポイント）をマーカーで印点（直径1mm以内の点）する。
- (6) 「試験終了」の合図で試験は終了になる。ただし、一連の流れが完了しない場合は減点対象になる。
- (7) 次の事項に該当した場合は不合格となる。

1 級	2 級
<ul style="list-style-type: none"> ● 明らかに不適正なフィッティング調整によるキズや変形が使用したフレームにある場合。 ● フレームの左右レンズ面がフィッティング調整により大きくねじれている場合。 ● アイポイントの印点が左右いずれかが 4.1 mm 以上の誤差がある場合。 ● 指定の頂点間距離に対して 5.1 mm 以上の誤差がある場合。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 失格条件なし。(減点のみ)

(8) 「試験終了」の合図が出たら速やかにメガネフレームを加工箱の中に置くこと。その後、検定員の指示に従い、提出袋にメガネフレームと指示書、対象者はチェックシートを入れる。

(9) 提出袋を封入後、使用した工具等の消毒作業を行う。

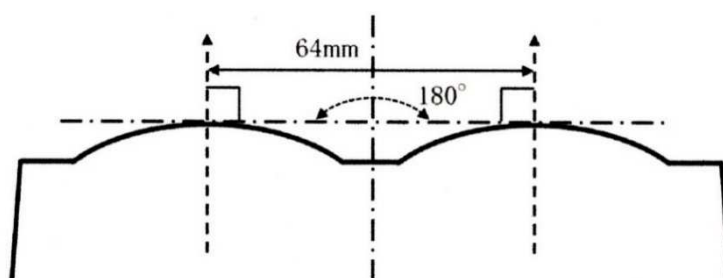
4 調製条件

試験開始前にリムロックねじ、パッドねじの増し締め、並びにテンプルねじの適正な調整を行うこと。

(1) 光学的調整条件

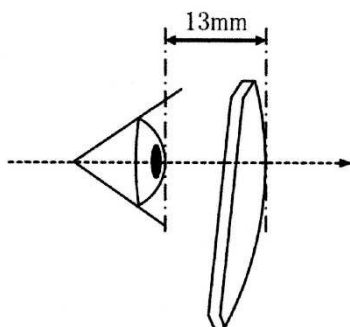
イ 眼鏡の使用目的は、遠用（常用）**眼鏡**とする。

ロ そり角 180° は瞳孔間距離 64 mm における マネキンへの装用状態でのレンズ光軸を基準に調整を行うこと。(図1 参照)



(図1)

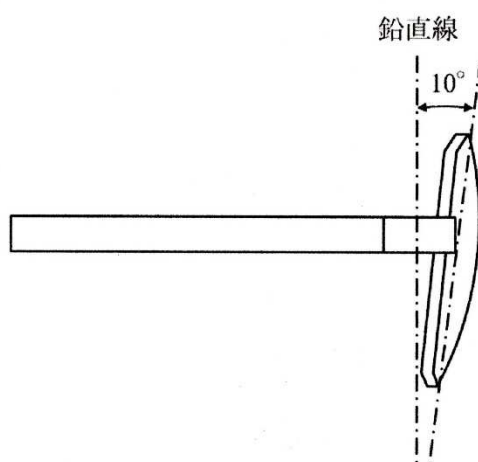
- ハ 装用距離は左右それぞれ、正面視での角膜頂点からデモレンズ前面までの距離が 13 mmになるよう調整を行うこと。(図 2 参照)



(図 2)

注：本来の頂点間距離は「角膜頂点とレンズ後面との距離。眼鏡枠のフロント部の平面に垂直な視軸に沿ってはかる。(JIS T7330：2000 眼鏡レンズの用語 より)」であり、メジャーは装用時前傾角だけ傾けて測定を行うこと。

- ニ 装用時前傾角は、装用した眼鏡を側面から見たとき、リム上端前面と下端前面とを結ぶ線の傾きが鉛直線に対し 10° となるよう調整を行うこと。(図 3 参照)



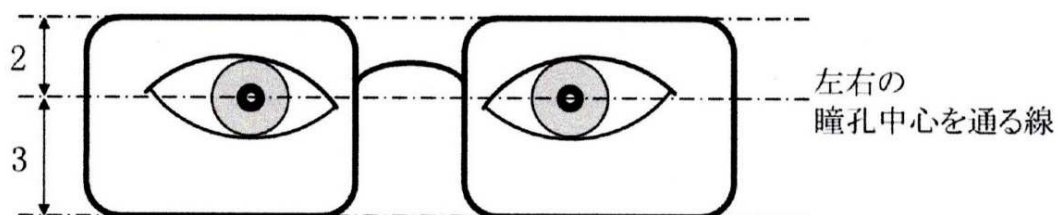
(図 3)

(2) 力学的調整条件

- イ パッドは面全体で鼻に当たり、かつ左右均等で幅を適正に調整を行うこと。
- ロ テンプルチップは耳介頂点より後方の位置から耳介付け根に沿って調整を行うこと。
- ハ 頭の後方から耳介後部の側頭骨へテンプルチップが均一に接触し、適度な力で押さえるよう調整を行うこと。

(3) 美観的調整条件

- イ 正面から見たときのフロントの傾きは、左右の瞳孔中心を通る線を基準とする。
(図4参照)
眉のラインに合わせるものではない。
- ロ 正面から見たときのフロントの高さは、マネキンに装用したときの瞳孔中心が、ボクシング・システムにおける玉形上下幅の下端から5分の3の位置になるよう調整を行うこと。(図4参照)



(図4)

5 試験会場に準備されている器材

工具	No.・機種名	販売元
クリングス調整	No.2、No.190	(株)サンニシムラ社
パッド調整	No.143、No.614	〃
智固定	No.765	〃
テンプル角度調整	No.76-B	〃
テンプル開き調整	No.40	〃
ドライバー	No.247	〃
ピンセット	No.1651	〃
ステッドラー	No.279-BS	〃
グリップゴムシート	No.1003	〃
眼鏡サシ	No.602	〃
フレームヒーター	No.169	〃
顔幅測定器	No.703	〃
検定試験用備品	—	—
眼鏡フィッティングマネキン	方眼チャート	分度器
ねじ締め台	加工箱	工具台
ティッシュ	アルコールシート	—

6 課題フレームサイズ（ボクシング・システム）（単位：mm）

1 級	2 級
50□16-145	54□15-145

7 合格判定基準

1, 2 級ともに満点の 60%以上。（但し、1 級は 60%を超えていても、不合格項目に該当の場合は不合格となる。）